

# 試験研究（事後）評価整理表

意見整理表3(事後評価)

試験研究機関名 内水面水産試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	豊かで魅力ある水産業の振興	資源増殖技術の高度化研究	追加放流効果調査(アユ)	漁獲の落ち込んだ漁場に成魚を追加放流することによる漁獲の回復等の効果について検討する。	追加放流後の分散状況、釣獲状況等について調査した結果、放流魚は大きく移動しないことと、追加放流により釣獲が向上することを明らかにした。	平成12	平成17	A	・評価いたします。
2	豊かで魅力ある水産業の振興	資源増殖技術の高度化研究	海産稚アユ遡上生態研究	アユ天然遡上状況を把握するとともに、海域での混獲状況や産卵場を把握し、天然アユ資源の保全を図るための知見とする。	福島県沿岸でのアユの混獲尾数の推定、混獲されるアユのサイズの把握を行った。また、浜通りの河川において産卵場の環境条件について調査した。	平成10	平成15	B	・成果を県民生活へ還元する方法を考えられた。
3	豊かで魅力ある水産業の振興	漁場環境保全研究	希少種分布状況の把握(イトヨ)	県レッドリスト 類(環境省、絶滅のおそれのある地域個体群)に分類された陸封型イトヨの生息分布を調べる。また、その生息環境等を調べることを目的とした。	猪苗代湖、阿賀川水系のイトヨ生息情報を収集し、現地確認をして生息分布を明らかにした。生息には湧水等地下水の存在が重要であることがわかった。	平成12	平成17	A	・今後生息に必要な環境が保たれることを期待します。
	豊かで魅力ある水産業の振興	漁場環境保全研究	希少種保存対策研究(イトヨ)	県レッドリスト 類(環境省、絶滅のおそれのある地域個体群)に分類された陸封型イトヨの生息環境等を調べることを目的とした。	猪苗代湖、阿賀川水系のイトヨ生息を現地確認して生息環境を調査した。また、併せて、遺伝的距離をアイソザイム分析で調べた。	平成13	平成17	A	・成果が書籍となって公表されること、データが残されます。